

1. 事業概要

本事業の目的・背景

現在、熊本市（以下、「市」という）の学校給食施設は、単独調理場（85施設）及び共同調理場（13施設）により運営されています。一方で、これら半数近くの施設が築40年以上を経過し、学校給食衛生管理基準への適合が成されていません。

そのため、施設の老朽化への対応、衛生管理基準を満たす施設整備、労働環境の改善に加え、働き手不足への対応、長期的な視点に基づく施設整備、環境負荷低減に向けた対応など、様々な視点から調査・検討を行い、今後の学校給食施設のあり方を「熊本市学校給食施設整備基本構想（以下「基本構想」という。）」として令和7年12月に決めました。

その構想に沿って、段階的に各給食センターの基本計画の策定及び施設整備を実施することとしており、まずは1ページ右に載せております。銭塘小学校跡地に（仮称）天明給食センターを建設する予定で現在基本計画策定に取り組んでいるところです。

事業対象地について

（仮称）天明地区学校給食センターの建設予定地は以下の通りです。

【所在地】 熊本県熊本市南区銭塘町990
銭塘小学校グラウンド

【都市計画】 市街化調整区域
集落内開発制度指定区域（法34条11号）

【敷地面積】 7,825㎡

【計画食数（案）】 5,500食

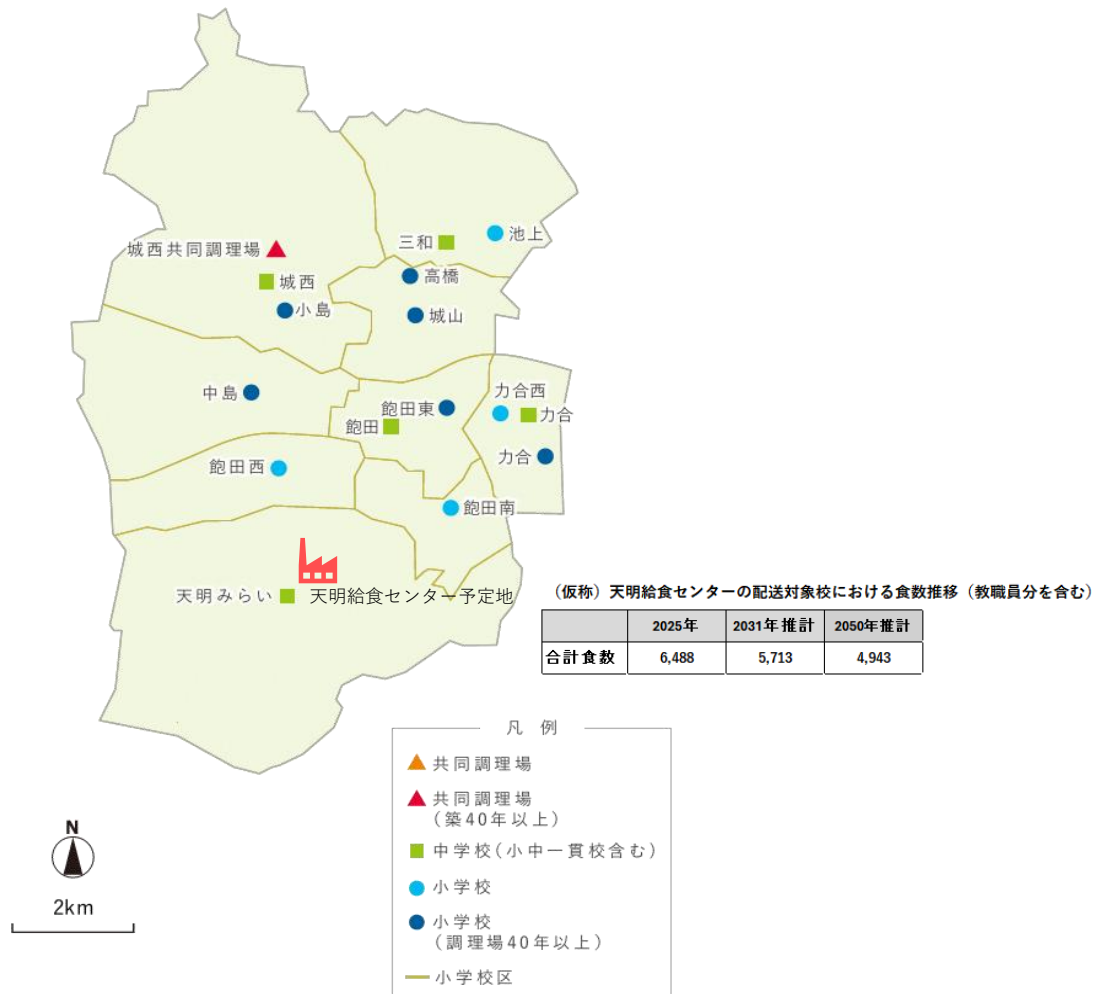


事業対象地

2. 配送校及びモデルプラン

配送校の検討について（7月時点）

建設予定の（仮称）天明地区学校給食センターの配送校は以下の通りです。



モデルプランの検討（令和8年7月時点）

5,500（食/日）の学校給食を調理するためのモデルプランを作成しました。
なお、以下のモデルプランについては、2献立、アレルギー室2室を条件として作成しています。

